

事故事例に学ぶ... 5

車道横断中の歩行者に衝突

左ばかり注意がいて、
右からの横断者に気が付かず...

事故の概要

発生状況

日時:平成10年11月某日 午後10時10分

天候:晴れ

発生場所:群馬県の市道

道路状況:道路幅7.2m、片側車線4.5mの直線道路

事故の当事者

A (10tトラック運転):年齢51歳・男性

運転歴30年

B (歩行者):年齢55歳・男性

被害状況

B:死亡(即死)

事 故 状 況

契約車両(10t)を運転するAは、道路幅員7.2mの片側一車線道路をK市方面に向かい時速約50kmで進行、現場付近にさしかかった際、右方から左方に車道を横断している歩行者を約20m手前で発見した。

衝突を避けるべく、ハンドルを右に切りながら急ブレーキをかけたが間に合わず、自車の前部バンパー左側で衝突転倒させ、内臓破裂等により死亡させた。

事故現場の環境等

現場付近は道路の両サイドに車道より15cm高い幅員2mの歩道が設けられている。郊外であり人家もまばらで、昼間でも交通量は少なく人通りもほとん

どない場所である。

事故となった現場は直線道路のため見通しは良い。契約車両の進行方向右側は、大工場の金網の塀が道路沿いに設置されている。左側は数件の飲食店の照明により若干の明るさはあるものの、街路灯が全くなく、夜間は歩行者を容易に発見できる明るさではない。また、現場付近には横断歩道は見当たらない。

交通規制は速度制限50km、駐車禁止、はみ出し通行禁止となっている。

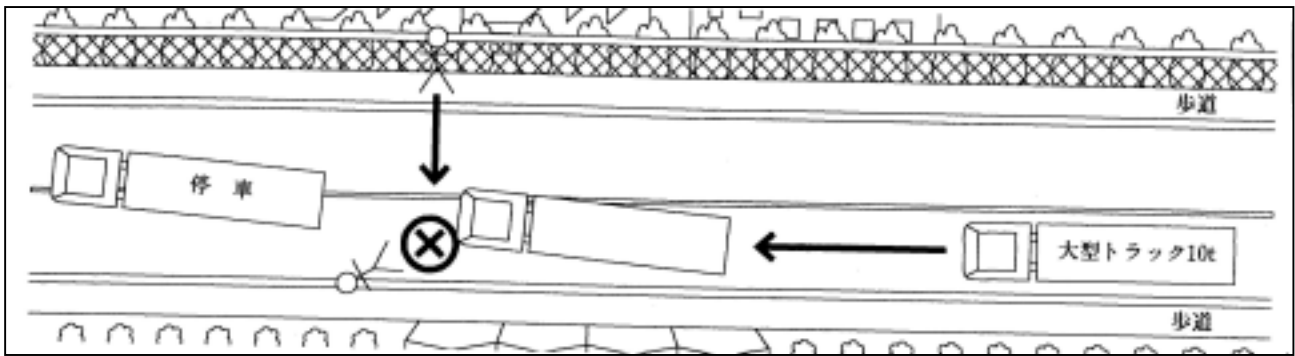
運転者Aの説明

事故の当日は、車長12mの大型貨物を運転し他県に向かうため、会社の車庫を午後10時に出発しました。

出発して間もなく現場付近の道路へ。約50kmで進行中、前方飲食店の手前約20m付近で、右から左に横断している歩行者を認めたので、とっさにハンドルを右に切りながら急ブレーキをかけたが、間に合わず、車の前部左側部分が歩行者に衝突してしまいました。

歩行者を発見するまでは左側の飲食店から出てくる人がいるかも知れないと、左にばかり注意しており、右には気が回りませんでした。

右側は工場の金網の塀で、民家はなく歩行者もいない所なので、人が横断してくるとは全く考えていませんでした。車を降りて見ると歩行者が倒れていたため、急ぎ飲食店のお客さんをお願いして救急車を呼び、警察に連絡しました。



私は進行中ライトを下向きにしていたこと、歩行者の服装が黒っぽいので発見が遅れたことが事故につながったと思います。

職場における交通安全指導

右方からの横断歩行者に注意(特に対向車の直後からの歩行者)

ドライバーから見て、進路前方左からの飛び出し横断は、最も緊迫した脅威となりますが、実際の歩行者事故を見ると、子供や高齢者の飛び出しを除けば、むしろ進路前方右からの横断事故が多いというのが実態です。特に、夜間の横断歩行者との事故はこのパターンが多いようです。

左からの飛び出しを警戒するあまり、右からの横断者に対する警戒心が薄れがちであるうえ、右ハンドルの運転席の視野は左に広く、また、ライトの照射は道路の右側が少ないため、発見が遅れがちになると考えられます。それだけに、横断歩行者に対する注意が左にかたよらないようにする必要があります。

直進中に対向車群からの横断歩行者に要注意です。対向車の直後から横断してくる歩行者は、運転者が対向車のライトに幻惑され発見がしにくくなります。

今回の事故事例は、左側に飲食店があり、道路の両側に歩道があるということから、横断者がいるかも知れないと予測し、前方の明るさを考慮してあらかじめ減速し、十分注意する必要がありました。

横断歩道外横断に十分な危険予知を

歩行者事故で最も多くを占めている発生場所は付近に横断歩道が見当たらない場所です。また、歩行者の多い住宅地などの生活道路では、横断歩道が近くにあっても、ところかまわず横断している歩行者が数多く見受けられますので、十分注意してください。

横断歩道に歩行者がいなくとも油断せず、その周辺の歩行者の有無や、子供の飛び出しなどに対して注意することが重要です。

ベテラン優良ドライバーの落とし穴

今回の事例のように、近年のトラック事故は壮年や熟年者にも多く発生しています。そして、トラックの経験が十年以上のベテランドライバーによるものが予想外に多いのが実態です。

無事故・無違反の優良ドライバーとはいえ、いつ事故に遭遇するか、その危険からは解放されるものではないのです。むしろベテランドライバーほど、自らの運転に自身を持ちすぎ警戒心に甘さが生じやすいものです。

「長い無事故は危険の兆し」と戒め、「そろそろ危ないかもしれない」と考え、安全運転・防衛運転を一層心掛けることが大切です。